

## シラバス

指定番号 265

商号又は名称： 有限会社信

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことをについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2		<p>・在宅、施設の何れの場合であっても、「利用者の生活の拠点に共に居る」という意識を持って、その状態における模擬演習(身だしなみ、言葉遣い、対応の態度などの礼節を含む。)を行い、業務における基本的態度の視点を持って介護を行えるよう理解を促す。研修を通じて学んだこと、今後継続して学ぶべきことを演習等で受講生自身に表出・言語化させたいうで、利用者の生活を支援する根拠に基づく介護の要点について講義等により再確認を促す。</p> <p>〈講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を通じて学んだこと</li> <li>・今後継続して学ぶべきこと</li> <li>・根拠に基づく介護についての要点(利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等)</li> </ul>
⑭ 就業への備えと研修後における事例	2	2		<p>・修了後も継続的に学習することを前提に、介護職が身につけるべき知識や技術の体系を再掲するなどして、受講者一人ひとりが今後何を継続的に学習すべきか理解できるよう促す。最新知識の付与と、次のステップ(職場環境への早期適応等)へ向けての課題を受講者が認識できるよう促す。</p> <p>〈講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に学ぶべきこと</li> <li>・研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業者等における事例(Off-JT、OJT)を紹介</li> </ul>
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	中央法規出版株式会社「介護職員初任者研修テキスト」
------------	---------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。